



# Mitsui V-Net

## Mitsui Volunteer Network Center

### 三井ボランティアネットワーク事業団

ニュースレター Vol.50

2013年7月1日発行

## 2012年度運営委員長を振り返って



吉岡 哲則（三井不動産）

私は前任者の誉田卓也さん（東芝）から三井V-Net運営委員長を引き継ぎました。三井V-Netの運営上の重要課題については、歴代運営委員長のご尽力により、昨年度までに整理され運営方針の道筋をつけていただいておりますので、1年間の運営委員長の役割を何とか無事に務めることができたのではないかとほっとしています。この場をお借りして、ご指導いただきました飯尾理事長、運営委員会の運営をしっかりとサポートいただきました山崎事務局長はじめ事務局の皆様、たびたび適切な意見やアドバイスをいただきました各社運営委員の皆様へ深く感謝申し上げます。

私は誠に恥ずかしながら運営委員に就く2年前までは、三井V-Netのことも先輩方々のボランティア活動も存じあげませんでした。しかしながら、本部や支部を通して会員の皆様の生き活きとした幅広い社会貢献活動をお聞きするたびに、私たち現役組の会社リタイア後の社会への関わり方のみならず、思いやりという意識の持ち方を改めて教えていただいた思いであります。

私は昨年10月、三井V-Netが毎年主催するエリザベス・サンダース・ホームでのチャリティコンサートに出席させていただきました。当日は開場時間前から大勢のお客様がお見えになりましたが、事務局とボランティア会員の皆様の事前準備や、会場への誘導案内、受付業務などきめ細やかな対応により、コンサートはつつがなく終了しました。ホーム側からご挨拶がありましたが、収益金の寄付へのお礼はもとより、継続して行われている園内清掃活動への感謝の気持ちが強く表されており、ボランティア会員の皆様の平日頃の社会貢献活動の一端に触れた気持でした。

私は新年度も運営委員会メンバーとして残りますので、微力ではありますが引き続き三井V-Netの運営面においてご協力させていただき所存であります。

末尾になりましたが、三井V-Netご関係者様のご健康と今後ますますのご活躍を祈念申し上げます。

本部（東京）

## 三井V-Net 活動参加の回顧

中村 次雄（商船三井OB）



三井V-Net発足以来の国際交流部門、特に東大国際センター（当時の留学生センター）部会の世話人を今般引退させていただくことになりました。一木会の例会・懇親会には、引き続き参加させていただきますが、事務局や活動を共にしていただいた方々に、心からの感謝申し上げます。

さて、私がか会社生活を終了する直前の1996年に三井V-Netが発足し、私がかその国際交流部門の活動に参加できたことは本当に幸運でした。三井V-Net設立の理念が「社会を支える生活集団として、高齢者を活用する」とのことで、まだ当時元気な私自身がその活動に少しでも貢献できれば、第二の人生として望外の喜びと夢の実現になると信じました。

1997年三井V-Netと東大留学生センター（当時）の関係者間の協議で国際交流活動のスタートとして、東大留学生とボランティア会員で対一交流（現在の東大FACE交流）を開始することが確認されました。

事務局から国際交流部門のスタッフボランティアに任命され、私がか主たる責任者として記憶に残る主な活動記録は次のとおりです。

(1) 1999年から5年連続で、新年のパーティーを開催できたことです。留学生とその家族、友人等を三井V-Netと東大当局が招待する形式で毎回200名以上が出席して大成功でした。

(2) 三井V-Net内部の友和と相互理解を深めるため、事務局の了解を得て、発足3年間毎年1泊のバス旅行を実施し、目的達成に努めました。

(3) NPO検討委員会の議長に就任して、会議を開催。国際交流部門のみでなく、V-Net 全般の運営形態を現在の「任意団体」のままが良いか、2003年に成立した「NPO法人」として登録するかの問題で、2003年に委員会を連続8回開催しました。熱心な研究の結論として、ご承知のとおり、当面は現状の「任意団体」を継続する



ことになりました。

以上のとおり一木会の会則改訂や三井V-Net 活動の全般問題の研究にも参加させていただき、歴代事務局や同僚の皆様にあらためて感謝いたします。

私の今後の夢は、国際交流の発展に対しては、東大のみならず関係各大学に関する方針に期待したいと思います。V-Net 発足以来20周年が近づいております。予てからの夢は、20周年記念として、世界で活躍中の会員と交流した留学生OB、OG の同窓会を日本で開催実現することですが、困難か……。

## 留学生の就活から感じたこと

宮崎 泰雄 (三井住友銀行 OB)



筆者(中央) 夫妻と留学生(左側)

留学生2人に、2010年11月から今年の3月まで、約100回の対一交流を行いました。この2人は、中国からの大学院留学生で理

系の方でした。共に、日本で就職しました。この内の一人は、昨年、約半年の日本での就活をおこなって、この4月から社会人となりました。日本の就活は中国にはなく欧米とも異なるものと感じながらも、就職するために通過しなくてはならないハードルと考え、頑張ってきました。

日本人学生ですら就職が厳しいなか、外国人であることによる情報のハンディキャップを負いながらの就活は大変だったようです。この就活期間中は、対一交流の都度、通常の日本語の勉強を差し置いて、就活状況についての相談や意見を求められました。特に、就職希望理由書の作成や面接への対応については、アドバイスを求められました。

個別面接やグループ討議という幾重のプロセスを通じて、選考が絞られていくため、常に不安を感じながら結果を待ち、結果が出てから次の面接への対応を考える。中々、内定が出ない中で心理状況は大変だったと思います。その中で、私共の経験に基づく情報提供は、幾分か役立ったと思います。私のアドバイスは、自分の考えを率直に伝えることを基本としてきました。但し、表現方法は、時には日本人のコミュニケーションに配慮した間接的表現を推奨しました。

彼らの話から感じることは、留学生採用に当たっての日本企業の面接担当者の海外の大学や事情についての理

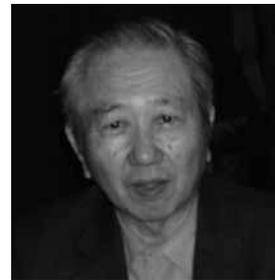
解不足です。面接者が志望者の基本情報を事前に理解して面接に臨んでいただけると、面接の際は大学で勉強したことに関する議論を深めることが出来ると思います。その結果、企業は優秀な留学生を選抜するチャンスが高まり、さらに日本企業に対する評価も高まる気がします。

4月入社後の集合研修も一段落し、職場配置の時だと思います。入社時の気持ちを一回会って聞きたと思います。

## 100回目を迎えた横浜国大部会

寺島 靖夫 (三井金属 OB)

平成24年12月の月例会で横浜国大部会は100回目を迎えました。



10年前の15年11月に10人のメンバーでスタートした部会は、今では登録ボランティア会員44人、平成24年12月現在の交流留学生は24人で、三井V-Netの部会の中で最も活

発な部会との評価を受けていることは、この会を立ち上げた者として感慨深いものがある。

当初東大の留学生交流をするべくV-Netに参加したが、東大に通うのは時間と費用が大変なことから、近くの横浜地区で行いたいと考え、15年4月からV-Net事務局の了解の下、横浜国大・横浜市大などに打診を開始したが、暫くは色好い返事が無かった。

7月になって国大の留学生センターから、短期交換留学生との交流を打診され、V-Net内で検討の結果、横浜周辺在住者で希望するものが17名ほどいることが判明し引受けることとなった。

10月に9人のボランティアで学校を訪問、留学生センターの担当教授をはじめ、中心的な役割を取られてこられた長谷川先生と打合せを行った。

11月11日、第1回目の部会をボランティア10人に長谷川先生、事務局2名で開催し、学校から13人の交流希望留学生がいることを知らされ、ボランティアとの組合せを決め、直ぐに交流を開始した。

同時に工場見学などの行事を行うこと、留学生向けに「日本の企業」について講義をしてもらいたいとの学校の要請にも応えることにした。

交流についての問題解決や諸行事の打合せのため、毎月(8月を除く)第3木曜日に部会を開催することにした結果、10年間で100回を重ねることになった。この間、



人と人のまんなかに。

毎年春秋の新生歓迎横浜ウォーク、日産自動車、火力発電所、東芝などの工場見学、鎌倉での座禅、流鏑馬見学などの行事を留学生に提供したり、会員間の親睦を深めるためのハイキングや飲み会も実施したりしてきた。会員は着実に増加しており、学校との打合せや行事のアレンジを行う世話人や書記も毎年任命された方が献身的に勤められ、スムーズな会の運営に繋がっている。

16年3月に集中講義でスタートした「日本の企業」講座は、17年からは春学期の正式講座となり、9人の講師が14駒の講義を行っており、学校からも高い評価を受けている。

今ではV-Net横浜国大部会は学校の信頼も厚く、「教員研修生」や外国政府派遣の「英語による修士課程の留学生」などからの交流希望もあり、複数の留学生の面倒をみるボランティアがでる状態で、更なるボランティア会員の募集が必要になっている。

横浜国大部会に参加してみませんか。



10月ウェルカムウォーク

## 「塩の道」探訪

岩瀬 英樹（三井住友銀行OB）

千葉大部会では、定期的に千葉県周辺の歴史・文化の探訪と会員の親睦を兼ねたイベントを催しているが、今回は東京江東区の通称「塩の道」を探訪した。

「塩の道」とは中川と隅田川を東西に結んだ約5キロの運河（小名木川…江戸初期に開削）を経由して、行徳の塩を江戸市中へ供給した水路のことで、塩以外の物資や  
芭蕉像前にて：後列、芭蕉像の右側が筆者 成田参詣客な



ども運ぶ物流の拠点となり、深川などの周辺地域も開発された。

好天に恵まれた4月23日（火）10時、メンバー9名が都営地下鉄新宿線「東大島」駅に集合し、近くにある「中川船番所」を始点に小名木川遊歩道を歩いた。よく整備された河岸は、平日とあって行き交う人も少なく快適な散策を楽しむことが出来た。

コース沿いには、芭蕉ゆかりの稲荷神社、クローバー橋（スカイツリー展望）、五本松、芭蕉庵史跡展望庭園と芭蕉像等々の見どころがあって江戸下町の味わいが深いうえ、この界限は、両国国技館に近く北の湖部屋、大鵬道場（大嶽部屋）など相撲部屋が並んでいて、我々が一服していたコーヒショップに二人の大男…北の湖親方（日本相撲協会理事長）と巨漢の弟子が現れるハプニングもあった。

午後3時を過ぎて、まだまだ元気な一同は清澄通りを南へ歩き清澄庭園（この名園の入場料が65才以上僅か70円）の美観を堪能してから、門前仲町へ下り「富岡八幡宮」で行路無事の御礼参拝をした後、門前の居酒屋で賑やかに慰労会を行い、散会したのは7時を回っていた。

## 平成25年度 駒澤大交換留学生との顔合わせ会

高橋 由美子（登録活動会員）

4月5日 金曜日 午後より駒澤大学に新たに入学した交換留学生と駒澤大部会会員との顔合わせ会が開催されました。留学生の



希望別分科会の模様

国別では韓国1名、台湾2名、中国2名、米国2名、フランス2名、オーストラリア5名で男女別では男性3名、女性11名でした。

部会員は鈴木世話人をはじめ8名、事務局より1名が参加しました。

会の前半は留学生の会場への入場を会員が拍手で迎えた後、三井V-Netや一対一交流内容、年間の留学生とのイベントスケジュール等について世話人の鈴木氏より説明を行った後に留学生、会員相互で自己紹介を行いました。



人と人のまんなかに。

後半は、留学生に交流希望内容やイベントへの参加希望等、部会で用意したアンケートに記入してもらい、希望する内容ごとに4班に分かれて、会員とそれぞれ意見交換を行うことによりコミュニケーションが更に図られる等、大変和やかな会となりました。

限られた時間ではありましたが、会全体を通じて感じたことは、留学生全員が大変真面目であり、日本をよく知りたいという意欲が伝わってきたことです。

留学生の希望傾向としては、日本語検定試験を受験したい学生が多く、会員としては合格できるよう指導、支援をしなくてはと責任を感じました。また、富士山ツアー、歌舞伎をはじめとする各種イベントにも参加したいと申し出る学生も多く、昨年に引き続き会員全員で一年間よりよいサポートができればと改めて感じた会となりました。

## 多摩川河川敷の清掃活動に参加して



渡部 敏郎 (三井化学 OB)

2007年から主に多摩川河川敷の清掃に参加しました。多摩川の河川敷はここ二三年で非常に綺麗になった。綺麗になるとさすがにごみを捨て難く見えて、以前こかし

こに見られたごみが今や探さないと見つからない状態である。若い人のバーベキューパーティーの害がここ数年騒がれ出した結果、狛江市条例で昨夏から禁止された影響が大きいのかもかもしれません。多摩川は水質汚濁がピークであった1970年代から水質が大きく改善した結果、現在では清流の魚である鮎が大量に遡上するようになっている。河川敷もそれに相応しい状態になったと言えるのでしょうか。ごみの種類で多いのは街中と同様にポリ袋・空き缶・ペットボトル・煙草の吸殻であるが、意外だったのはアルミ箔と発泡スチロールの破片、それに乾電池である。

河原を利用している人のマナーについて言えば、釣り人で清掃している傍からタバコの吸い柄を捨てる人もいれば、通り掛かりの中年の人から「ご苦労さんです」と声をかけられたこともある。また河原は多くのホームレスの住処になっているが、ここの掃除は優に30分は掛かる。せめて住処の周りは綺麗にして欲しいと思うのだが、衣食足りて礼節を知ることなのでしょう。あちらこちらの青いブルーシートを見ると、小泉総理の時代から言われていた「格差拡大」が、現実のものとなっている

のであろうか。

最近河川敷清掃の参加人員はこのところ8名前後で推移している。その分お互いの顔見知りとなって、話合いが増えてきた。昼食会は参加者の殆どが参加する楽しみのひと時で、場所は何時もの焼肉屋だ。業界を超えた話が面白く新鮮で毎回盛り上がる。同じグループであるのでどこかで接点があって話が繋がる。霞が関ビルや住友ビルに不動産会社名がつけられなかった理由等は

時代を映した興味ある話であった。今後も世間に少しでも貢献できるのであれば体の許すかぎり続けていきたいと思う。



## 初めて由比ヶ浜清掃活動に参加して

坂本 二郎 (東芝エレベータ(株)神奈川支社)

私は、今回初めて由比ヶ浜清掃活動に参加させて頂きました。ボランティアでの清掃は、昨年6月東日本大震災被災地の宮城県七ヶ浜町にて津波の被害にあった田んぼの清掃活動に参加し、とても良い経験になったことから、今回の参加を希望しました。

まず、由比ヶ浜海岸に到着すると、思っていた以上にたくさんの参加者がいました。中には、家族で参加されている方もいて、子供の教育のためにも家族のコミュニケーションのためにも、素晴らしいことだと思いました。

左手にごみ袋、右手にトングを持ち、清掃のスタートです。海岸は、ビニール片、プラスチック片、ガラス片など多く落ちており、ガラス片などは裸足で遊ぶ子供たちを思うと大変危険だと感じました。約一時間で清掃は終了し、皆でごみを集めました。一人ではごみ袋一つ分





のごみでしたが、たくさんの参加者がいることで大量のごみが集められました。

これは、七ヶ浜町のボランティア活動の際に感じた「一人の力は微力でも、みんなが集まれば大きな力になる」ということを改めて実感しました。

その後解散となり、5月の爽やかな晴天の中、すがすがしい気持ちで帰宅の途につきました。私は、この清掃活動に参加し、ボランティア活動は参加する側にも大きな気づきを与えてくれると感じました。仕事を離れ、心身ともにリフレッシュすることができ、普段接する機会の少ない他部門の方とコミュニケーションをとることができたのも、良い経験となりました。

今後も、このようなボランティア活動には積極的に参加したいと思います。ありがとうございました。

## 日本赤十字社医療センターで会員が 永年活動表彰

東京本部 事務局

平成25年3月12日(火)、日本赤十字社医療センターで平成24年度のボランティア総会が開催され、当総会で永年にわたりボランティア活動をされている方々に、杉本副院長より謝辞の挨拶の後、感謝状贈呈式がありました。今回の表彰対象者は30名でした(活動30年以上1名、25年以上1名、20年以上2名、15年以上3名、10年以上11名、5年以上12名)。表彰式終了後、ボランティア会員と病院関係者の懇親会があり、皆様和気あいあいと歓談されていました。

三井V-Netの活動会員から4名の方が表彰を受けられました。

15年以上活動表彰：飯野 義章 様、前田 正道 様、



総会参加の三井V-Net 会員の皆様  
左から 最上様、神崎様、前田様、飯野様、上原様、内藤様  
田中様、田村様

笹間 克彦 様

10年以上活動表彰：長尾 まり代様

このたび表彰された4名の方は、1階の総合案内付近で外来患者さんのお世話(再来機の操作・診療科の案内・車椅子の補助・会計機の操作など)をされています。

同医療センターで活動されている三井V-Net会員は12名の方々に外来受付のほか産科病棟でもボランティア活動をされています。

会員の皆様は、来院の方や患者さんはじめ病院関係者からも信頼されています。

## 関西支部 (大阪)

### 留学生のお相手を承って



上野 二郎 (三井化学OB)

三井V-Netに登録したのは定年退職直後であったと思いますので、かれこれ16年も前のこととなるでしょうか。以来、V-Netの方からはいろいろな奉仕活動へのお誘いを頂いて来ましたが、なかなか条件の合う案件に巡り会えず、2008年の世界陸上の他は海岸の清掃に数回参加した程度で、V-Net会員としては寄与の少なさに申し訳ない思いを抱いておりました。

登録の際、希望する案件の選択肢の中に、外国人留学生のお世話というのがあって、強い希望を持ってチェックを入れていたのですが、V-Netの関与する領域が京阪神間に偏在してしまっていて、泉州に住まいする私には手が届かないのでした。奉仕の精神で臨むのであれば、少々遠いところへでも出て行くべきであるというお叱りを頂くことにもなりそうですが、一過性の奉仕活動ならともかく、長期にわたる活動が永續きするためには、こちらの負担もそれなりに軽くなくては保ちません。

このほど、V-Netの領域が南方へ広がり、近在の大阪市立大学に到達しました。事務局よりお誘いを頂き、医学部博士課程在学のベトナム人女子学生とのおつき合いで、主に日本語習得のお手伝いをする事になりました。まだ始まったばかりですが、留学期間が4年半とのことですので、長いおつき合いになりそうです。素直で明るい人柄で、会って楽しく、これからが楽しみです。

かねてより留学生援助の領域が東海道線沿線に偏在していると、不満を抱いていたのですが、裏を返せば、V-Netの領域拡張の努力の証しであって、陰に大変なご



苦勞があったであろうことが偲べれます。

## 京都府立医大病院・患者図書室 ボランティアに参加して

米原 俊介 (東レ OB)



三井V-Netのご紹介で、2012年11月に新たにオープンした京都府立医大病院・患者図書室“ほほえみ”でボランティア活動をはじめました。近年患者図書室を設置する病院が増えていると聞きますが、“ほほえみ”は「24時間・年中無休」のとてもオープンな施設です。

“ほほえみ”は ボランティアによる運営を基本としており、私たちは初めてのボランティアでもあり、月1回開かれるボランティア・ミーティングでは、より良い運営に向けて意見が活発に出されます。

“ほほえみ”での仕事は、本の貸出、返却の受付、書架の整理、PCの管理などが主なもので、私は月に3～4日のペースで参加しています。図書室を訪れた方の声をきくために置かれたノートには、「居心地の良い空間、とてもリラックスできました」「入院中の子どもがお世話になった、癒しの空間」などの書き込みがあります。また、予期せぬところで感謝されたりすると、単純な仕事ですが「ニーズがあるからボランティアは成立する」との思いを強くしています。

“ほほえみ”は医療関係の図書が充実しており、患者さん自身が病気を知り、前向きに治療に取り組めることを支援する場ではありますが、同時に患者さんやご家族に対し安らぎの場でもあるよう、少しでもお役にたてればと思っております。

“ほほえみ”の愛称が気に入っております。拙文中何回か使いましたが覚えていただけましたでしょうか。



## キッズプラザ大阪のインタープリター活動

島田 榮治 (日本製粉 OB)



私のキッズプラザとの縁は、8年前、幼稚園の孫と扇町公園に行き、偶然入場して展示を見た孫が、「おう！」

と驚きの声をあげて大喜びしたのが契機でした。昨春、三井V-Netを通じて、インタープリター (IP) 募集を知って、5日間の事前研修の後採用されました。

私は、フロアコーナーに所属。科学・自然、文化・社会、乳幼児、キッチンの各コーナーがあって、2年間は、ローテーションで担当します。子ども達に人気のあるのは、人の入れる大きなシャボン玉、じゃぶじゃぶポンプを使うタルころがし、大阪湾・淀川の生き物水槽、動く絵タワー・バリアタウンの車イス体験、民族衣装の着用、世界の打楽器演奏、本物レジのあるキッズマート、郵便センターでの配達、世界の家のジオラマ、キッチンでクイズやゲームでの身近な食物の知識習得、すし・タコ焼屋台等の店屋さんごっこ、その他盛り沢山で、まさに実際やってみることによって学ぶ「こどものための博物館」です。子どものなかには、時間が足りなくて帰りたくないという子も出る状況です。

私達IPは、「笑顔、こどもも楽しく、自分も楽しく」を目標に、展示物・プログラムの紹介、解説を行い、子ども達の興味・関心を、引き出すスタッフとして活動しています。フロアの他にスタジオ・パソコンのコーナーがあります。子ども達の帰り際の「おじさんありがとう」リピーターの子の「また来たよ」等のふれあいに、元気をもらい心も癒されます。年間来館者数42万人のすばらしい参加体験型学習空間に、ぜひ子どもさん(お孫さん)を連れておいで下さい。また、毎年1月のインタープリターに応募されて一緒に活動しませんか。

## 四天王寺ワッソに参加して

藤井 健三 (東レ OB)

私が、日本と朝鮮半島との文化交流の象徴的なイベントである四天王寺ワッソにボランティアとして関わったのは、2010年が最初でした。三井V-Netの呼びかけに応じて申込み、高麗加西溢(コマノカセイ)という高級絵師の役をいただきました。対馬海峡の荒波に行く当時の船



をかたどった山車に、高句麗の大興王とともに乗り、多くのフラッシュを浴びて戸惑いながらも、初体験ながらいい気分を味わいました。



前田様 藤井様 富谷様

今回(2012年11月4日)は、雨で流れた前年とは打って変わって、「いいよ」の文字通り好天に恵まれ、私も小野妹子役で2回目の参加となりましたが、どうしても果たしたいことがありました。それは、前回の私のワッソ出演の話に触発されて、どうしても出たいと熱望する調停委員の同志、富谷七朗氏の参加を実現することでした。まず、三井V-Net入会の手続きをしたうえで、エントリー申込みを済ませ、後は、結果を待つだけ・・・

その結果、彼は、蘇我蝦夷という大役をゲット、大喜びで、当日は、愛妻のカメラにポーズをとり、終始ご満悦でした。

一方の私は、前回の使節団パレードとは異なり、使節団をお迎えする立場で、攝津職大夫役の渋谷天外さんの近くに控えておりました。パレード開始前の控室では、スタッフの方に手伝ってもらい、それぞれの役の衣装に着替えるのですが、変身しながら出演者同士の交流が生まれます。ミスターワッソこと浜村淳さんが、役柄が書かれたワッペンを手に私のそばに来て、「これ、どうやってつけるんですか」と聞かれるので、そのワッペンを付けてあげたのですが、それがきっかけで雑談をしたり、また、聖徳太子役の衣装に着替えた井植敏さんが、長身でぶらりと部屋に現れ、挨拶を交わしたり、著名な方々ともフランクに交流ができたのが印象に残っています。

隔年で雨にたたられることの多い四天王寺ワッソですが、今年も開催日は昨年同様「いいよ」(11月4日)ですので、好天であることを願いつつ、今度はどんな役柄と出逢えるか楽しみです。

## 須磨海岸クリーンアップボランティアに参加して



高田 肇 (三井造船関西支社)

4月20日、須磨海岸クリーンアップボランティアに初参加しました。3月中旬に三井V-Netからの須磨海岸クリーンアップの案内をもらって、参加しようかどうか迷っていた

ところ、すぐ近くにアウトレットモールがあることがわかり、午前中はボランティア、午後はショッピングという計画を立てて参加しました。ところが、前日の夜は結構本格的に雨が降りだし、そのうえ、当日の天気予報も雨の予報でしたので近くの百貨店で雨合羽を購入し準備しました。当日の朝には心配していた雨もすっかりやんでおり、若干風は強かったものの、絶好のクリーンアップ日和(?)でした。

当日の参加者数は主催者発表で約540名、説明によるとごみの調査が主な目的ということでした。最近のごみの傾向としてはそれまでの煙草の吸殻に代わって、昨年はプラスチック片がトップだったそうです。説明が終わると参加者が一斉にごみを拾いはじめました。砂浜を一見すると綺麗でこのどこにごみが落ちているのだろうと思うほどでしたが、良く眼を凝らしてみると、確かにプラスチック片をはじめとして色々なごみが落ちているものです。特に砂浜沿いに建っている小屋の物陰には、ペットボトルや煙草の吸殻等が隠すようにたくさん落ちていました。

今回は春先の海岸ということもあるのか、砂浜は思ったよりごみが少なく綺麗な印象でしたが、たくさんの人でにぎわう海水浴シーズン終了後は花火や色々なごみが落ちているのかもしれない。そうこうしているうちにごみ拾いも終了。グループで回収したごみの種類を集計し、ごみ集積場に持ち込むと今回のクリーンアップボランティアも終わりました。その後有志で軽く乾杯したのは言うまでもありません。気持ちの良い一日でした。

## 中国支部 (広島)

### 「震災から学ぶ」学習会に参加して

小西 宏伸 (東芝OB)

平成25年3月10日に開催された広島市ボランティア情報センター利用者連絡会主催の学習会で「災害時における調理の実習」と「日本赤十字社広島県支部の災害救護活動状況、日本赤十字社中四国ブロック血液センターの見学」に参加しました。

○災害時の調理の実習では、最小限の備品で炊き出しができ、食器や箸を使わずに食事ができる実体験をする企画でした。強化ポリエチレン製の「ハイゼックス」という袋を使い印刷されている指示線





に沿って1合の洗米と水、適量のだし汁、ちりめんじゃこを入れて、空気を抜きながら口元を輪ゴムで縛り、沸騰したお湯の入った大きな鍋で約40分煮て完成です。

ペットボトル半分のきれいな水さえあれば、暖かい炊き出しご飯が食べられるというサバイバル術を体験・実感することができました。昼食には、各自が作ったご飯を頂きながら、所属するボランティアグループの紹介を含め、日頃の活動についての意見交換をしました。

○日本赤十字社広島県支部の災害救護活動状況の見学では、救急設備、移動車及び災害物資の保管してある倉庫を見学し、救急救命にとって、一番効果的なのは、その場にいる人や災害ボランティアの方々の緊急一時対応であり、救えるはずの命が目の前にあっても、スキルが無ければ、冷静な判断も行動もできないことを学びました。私たち一人一人が関心を持ち救急救命の緊急一時対応のスキルを身につける必要があるのではないかと思いました。

○日本赤十字社中四国ブロック血液センターの見学では、昨年10月に完成した施設で、まだ一般公開されていない状況で特別に先駆けて見学させていただいたものでした。3D映像によるプレゼンテーションが上映され、献血、血液に関する知識を網羅したデモンストラーションが展示され、血液製剤、検査エリアの見学ルートも整備されていました。“要所”にタッチパネルの端末が配置され血液に関するQ&Aを織り込みながら遊び心で学べる仕組みになっていました。献血は70歳以上の人は献血不可という年齢制限があり、一方で献血可能な若者の人口が減っており、いかに血液が足らなくなってきているか、高齢化社会と献血の深い関係を知ることもできました。数日後、たまたま広島の駅前に献血車がいたので、さっそく飛び込んで献血に参加し心と体がスッキリしました。

災害がいつ起こるか分からない状況の中で、今回の体



験はすべて初めてのことばかりで大変興味深く見学させていただくとともに、多くのボランティアの方々との意見交換を通して、大いに勉強になりました。

## ボランティア通訳者研修会に参加して

山形 美保（登録活動会員）

旅先で「日本ってどんな国？」と聞かれ、うまく答えら



れず慌てたことがあります。広島平和公園を外国の方に案内できるようになりたいと思い、(財)広島平和文化センター主催の本研修に参加しました。

5日間の研修では、外国人市民をとりまく現状や市の取りくみ、災害時の支援や平和公園の英語案内、通訳訓練法の紹介など、通訳にとって役立つ内容が満載で、とても勉強になりました。

中でも特に印象に残ったことは、平和公園のフィールドワークの際のガイドさんの言葉です。

「広島までわざわざ足を運ぶ外国人は、“平和への思い”があるはずで、原爆投下という未曾有の体験をした広島という街に住む私たちは、“心の痛みを共有できる人”として期待されています。訪問自体が平和活動であり、その方たちの話をよく聞き、思いを受けとめることもガイドとして大切です。」

それを聞いて、私はとても驚きました。確かに、公園内にどんな慰霊碑があり、いつ作られ、どんな意味を持つのか、など説明することも大事ですが、それ以上に訪れた人と思いをシェアするということは意味のあることだと感じたのです。ああ、やはり平和公園は特別な場所なのだと思います、ガイドするというこのエッセンスも教えてもらえた気がします。

広島に生まれてきた以上、やはり平和の大切さをうたえていきたい、たくさんの方に平和公園を訪れてもらいたいと思いました。

## ボランティア活動との出会い

伊藤 義行（東芝OB）

私とボランティア活動との出会いはちょうど50年前、小学5年生の時です。皆さんも時々催物会場等で見掛けられると思いますが、ボーイスカウトへの入会が切っ掛



けでした。当時は“ボランティア”という言葉は全く聞き慣れないもので、奉仕活動と呼ぶのが一般的でした。入会当時は、小学校6年までのつもりでしたが、結局は高校3年生までの丸8年間続きました。

ボーイスカウトは、3つの“誓”と12の“掟”に基づいて活動する団体で、“掟”の中には「人の力になる」、「親切である」、「礼儀正しい」等があり、正にボランティア活動の精神そのものと言えます。毎週土曜日の夜、約2時間の訓練（手旗信号、モールス信号、ロープ結び、ゲーム等）を行います。繰り返し行う訓練でしたので、今でも大抵のことは覚えております。年間行事としてはキャンプ、ハイキング等の野外訓練やいろんな催し会場での交通整理、案内、パレード（鼓笛隊）参加が主だったものです。

この8年間の経験がその後の私の人生において大きな支えになっていることは間違いないと思っています。

私は、東芝中国支社を2年前に定年退職致しましたが、現職時代に支社でCSR推進委員として毎月1～2回実施される支社周辺の清掃活動にほとんど欠席することなく参加しておりました。そうした経験もあって、退職後三井V-Net中国支部の佐々木支部長から入会を勧められた折も二つ返事でOKさせていただきました。三井V-Net中国支部では、毎月第3日曜日に世界遺産である広島平和記念公園周辺の清掃活動を実施しています。公園内はいろいろな団体が毎日清掃されているのでほとんどごみがありませんが、周辺各所にはタバコの吸殻や空缶、弁当殻等が結構落ちています。世界遺産の美化に努めることは広島市民の義務だと私は思います。私達の活動の輪を拡げ広島を訪れる外国人や国内の観光客が、さすが平和都市広島だなと思っていただけることを願い、今後この活動に継続参加して行きたいと思っております。

#### <追伸>

皆さんは障害者の軟式野球チームがあることをご存じでしょうか？私は広島県で唯一の公認チームである広島アローズのコーチに縁あって10年前に就任し、現在も続けております。周囲の方々はボランティア活動と見られていますが、根っからの野球好きの私はこれまでボランティアと思ったことは一度もありません。むしろ、このチームの一員としていろいろな経験をさせていただくことに感謝しています。広島



アローズの活動状況、私の経験談、エピソード等につきましてはまた投稿の機会がありましたら是非寄稿させていただきたいと思っています。

## 日本語支援ボランティア活動を通して

松浦 順子（登録活動会員）

今年3月、広島県の江田島で外国人男性による8人の殺傷事件が起きたこと



左から二人目が筆者

は、まだ記憶に新しいところです。残念ながら社長さんや従業員の方が亡くなりました。何とも悲しい事件でした。また昨年末には、介護士

の資格を取るために東南アジアから来日した沢山の留学生が、試験にパスできなくて、志を達成できないまま母国に帰っていく光景をテレビでよく見ました。言葉の壁というものを強く感じるこの頃です。

わたしは今、公民館でボランティア活動の一環として、外国人の人に日本語を教えています。日本人の指導者は約15名、学習者は約10名。常に異同はありますが、中国・フィリピン・ベトナム・イギリス・アメリカ・カナダ・メキシコ・ペルー・オーストラリア…いろいろな国の人がここに日本語を学びに来られます。なかには嬉しいことに就職が決まり、ここを離れていかれる人もいます。

初めはただどしどしい日本語しか言えなくて不安そうだった学習者も、この教室を訪れ、勉強し、ほかの外国人の人たちともコミュニケーションをとる中で、日本語の上達はもちろん、友達の輪も広がり、楽しそうにお喋りをしながら帰っていく姿を目にすると私たちもほっとします。ある時は学習以外にも、お花見に行ったり、お抹茶をたてて飲んだり、工場見学に行ったりして日本を知ってもらおう一方、中国・フィリピン・メキシコなどの料理を教してもらったりダンスを教してもらったりして、お互いの文化の交流を図っています。そんなときにはみんなとても生き生きとした表情をしておられます。

しかし残念なことに、日本の言葉や人間関係に馴染むことができなくて母国に帰る人、考え方の違いや文化の違いを受け入れることができなくてやむなく離婚をする人、外国籍というだけで就職の面接すら断られて仕事に就けないままの人など、日本で生きていくにはまだまだ困難なことがたくさんあり、無力さを感じさせられること



人と人のまんなかに。

もよくあります。

江田島で起きた事件も、彼の中にいろいろと理解できないことがあったのでしょうか。そしてそれを言葉や人間関係の難しさから伝えられないまま、やがて抱えきれなくなって爆発したのでしょうか。こんな悲惨な事件が起きる前にもっと手を差し伸べることができなかったものかと思うと、胸が苦しくなります。

また、日本で介護の仕事を目指して意気揚々とやってきたものの、明けても暮れても日本語、日本語、漢字、漢字。日本人の私でさえ馴染のないような言葉を勉強し、挙句の果てには不合格では余りに気の毒ではありませんか。

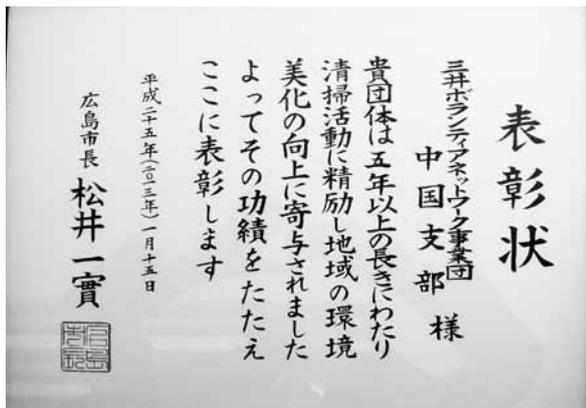
このボランティア活動に取り組んで早10年。日本語を媒介に外国の人と接し、お互いの文化を認め、理解しあっていくよう努力しながら、また新しい発見をするために今日も公民館に通っています。外国の人たちの笑顔を見ながら。

## 環境美化功労者表彰 受賞

中国支部 事務局

今年1月15日、三井V-Net中国支部が平成24年度広島市環境美化功労者表彰の永年活動5年表彰・団体の部で広島市松井市長より受賞しました。

中国支部開設直後の平成18年11月から始めた広島平和記念公園の清掃活動は今年1月で71回目を数え延べ人数約1600人の活動となりました。地味な活動ですが世界の平和の象徴である広島平和記念公園が少しのごみもない公園にと願う気持ちで寒い日、暑い日に関わらず取り組んで来られましたのは、ひとえに会員の皆様方が積極的にご参加頂きこの活動を盛り上げて頂いたお陰と感謝しております。この活動はこれからもできる限り継続していきたいと思っていますので、引き続き皆様のご参加ご支援をよろしくお願いいたします。



## 事務局便り

### 一事務局員の異動一

#### 入団挨拶

### よろしくお願いたします

関西支部長 菅田 隆夫 (日本ユニシス OB)



パソコン教室や前任の前田昌巳さんが開設された“関西サロン”に参加して会員の皆さまと楽しく交流すると共に大阪市立大学留学生交流、須磨海岸クリーンアップ、キッズプラザ大阪、

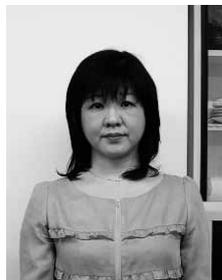
大阪歴史博物館、四天王寺ワッソ等にボランティアとして幅広く活動することによって、三井V-Netのコンセプトを共感出来たことがご縁となり、本年4月から事務局でお世話になっております。

関西支部は昨年12月で開設10年を迎えましたが、開設以来の活動を全面的に支援して頂いている会員の皆さま、及び歴代事務局員の皆さまの熱い想いを絶やすことなく、かつ関西ならではのアットホームな雰囲気を守りつつ、微力ではありますが、更なる会員の増強、新規関係先の開拓等活性化に努めたいと思いますので、よろしくお願致します。

#### 退団挨拶

### ありがとうございました

本部 (東京) 下加茂 洋子 (三井不動産 OG)



V-Net会員の皆様、事務局の皆様、大変お世話になりました。

昨年5月から11ヶ月の短い間でしたが事務局で担当をさせていただいた病院関係や日本語サロン、福祉関係のボランティアのお手伝いのなかで多くのことを学ばせて

いただきました。

もうしばらく現役生活を送ることとし3月をもって退団をさせていただきましたが、後々は私も会員皆様を見習い少しでも社会の役に立てるようなボランティアに参加していきたいと思っております。またどこかでお会いできる日を楽しみにしております。どうぞお元気で活躍ください。ありがとうございました。



## 皆様に感謝します

関西支部長 前田 昌巳 (商船三井 OB)



2011年6月に前任の澤野井潤一さんから事務局を引継ぎましたが、あっという間の貴重な2年間でした。留学生一対一交流ボランティア経験半年の新人がいきなり事務局として、様々な分野のボランティア活動のコーディネーターとして会員の皆様、大学、病院、博物館他ボランティア受入先との連絡・調整を行うこととなりましたが、会員の皆様の温かいご支援とボランティア関係先の皆様方のご理解・ご協力のお蔭様を持ちましてボランティア活動に幅広く接することが出来、事務局就任後に開設した“関西サロン”を通じ、会員の皆様との交流の輪を広げることが出来ましたこと心より感謝しています。

退団後は、自分の出来る範囲で無理なく末永くボランティア活動を続けたいと思っていますので、ボランティアの仲間として今後ともよろしくお付き合い下さい。

最後に二人事務所の関西支部を支えてくれている村上初江さんに謝意を表すと共に、後任の誉田隆夫さんに引続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い致します。

## 2012年度「三井V-Net奨学金 (ダルニー奨学金)」支援報告

東京本部 事務局

三井V-Netでは「書き損じはがき」「未使用はがきと切手」および「使用済みインクカートリッジ」など資金源となる物品を随時収集しております。一年間に集めた品々を一般財団法人国際センターに送り、換金作業を経て、タイ国にて経済的に恵まれない農村部の子どもたちの中学就学支援に充てています。ボランティア会員様はじめ会員会社の現役社員や一般のみなさまからご提供いただいた2011年1月から12月までの原資物品の換金後の金額は28,581円となり、2012年度分『三井V-Net 奨学金』として提供され、合計11名もの子供たちを支援することができました。そのうち5名がこの春中等教育課程を修了し、さらなる勉学を続けるため高等学校への進学を予定しているとの嬉しい報告が現地より届いております。

ご協力にあらためて感謝申し上げますとともに、今後も同様な支援実現のためひきつづき広く収集を呼び掛けていく所存でございます。

なお、東京にて年4回開催しております一木会例会の会場受付にても資金源となる上記物品をお預かりしております。東京・関西(大阪)・中国(広島)の三井V-Net各事務局でもお受けいたしますので、少量でもご持参ご送付いただければ幸いです。



奨学金を受けて中等教育課程を本年3月に修了したタイの生徒と礼状

### ※ダルニー奨学金とは

ダルニー奨学金は、経済的貧困のため教育の機会に恵まれないラオス・カンボジア・タイの子どもたちの進学を支援する国際教育里親システムです。

## 予告

### 第7回エリザベス・サンダース・ホーム「チャリティコンサート」開催のご案内

三井V-Net 湘南倶楽部では、JR大磯駅前にあります聖ステパノ学園「海の見えるホール」にて、チャリティコンサートを下記のとおり開催いたします。

後日ご案内いたしますが皆様お誘いあわせのうえ、ご参加くださるようお願い申し上げます。

なお、チャリティコンサートの収益金は、同ホームに寄付します。

~~~~~ 記 ~~~~~

- 1. 日 時 2013年11月10日(日) 14時開演予定
- 2. 会 場 聖ステパノ学園「海の見えるホール」
- 3. 演奏者 小林 洋平氏(サクソ奏者)ほか

編集責任者：山崎 俊一

# 三井ボランティアネットワーク事業団 (三井V-Net) 皆様もボランティア活動に参加しませんか

三井ボランティアネットワーク事業団は、三井グループ有志各社の協力を得て、1996年に設立されました。主として三井グループ企業出身のシニア層のボランティア活動を推進し、豊かで健康な生きがいを感じられるように支援を行い、以て三井グループ全体の社会貢献とすることを主たる目的としています。ボランティア活動会員登録には入会金および年会費等は不要です。ボランティア活動については保険に加入しています。

|                                                              |                                        |                                                                       |             |
|--------------------------------------------------------------|----------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|-------------|
| <b>ボランティア活動会員登録票</b>                                         |                                        | (関東地域) 03-5570-8035<br>FAX (関西地域) 06-4396-8681<br>(中国地域) 082-222-5101 |             |
| 三井ボランティアネットワーク事業団(三井V-Net) 御中<br>貴事業団を通じたボランティア活動への参加を申込みます。 |                                        |                                                                       |             |
|                                                              |                                        | 記入日 20 年 月 日                                                          |             |
| 氏名                                                           | (フリガナ)                                 | 生年月日                                                                  | 19 年 月 日    |
|                                                              |                                        | 性別                                                                    | [ ]男 ・ [ ]女 |
| 住所                                                           | 郵便番号 -                                 |                                                                       |             |
| 自宅電話番号                                                       | -                                      | -                                                                     |             |
| 自宅FAX番号                                                      | -                                      | -                                                                     |             |
| 携帯電話番号                                                       | -                                      | -                                                                     |             |
| E-Mail Address                                               |                                        |                                                                       |             |
| 出身企業                                                         |                                        |                                                                       |             |
| 以下の活動についてご希望される項目に○印を入れて下さい(複数可)                             |                                        |                                                                       |             |
| 希望する<br>ボランティア                                               | ① [ ] 国際交流(留学生と日本語を通じての交流・文書作成の支援等)    |                                                                       |             |
|                                                              | ② [ ] 環境保全(河川敷・海岸等の掃除、水源林地域保全活動)       |                                                                       |             |
|                                                              | ③ [ ] 医療(病院外来の案内・図書整理・演奏活動等)           |                                                                       |             |
|                                                              | ④ [ ] 福祉(福祉施設内の草刈・掃除、福祉団体主催イベントでの手伝い等) |                                                                       |             |
|                                                              | ⑤ [ ] 文化・教育(文化施設での手伝い、アジアの児童の奨学金支援)    |                                                                       |             |
| 会員登録の動機について該当項目に○印を入れて下さい(複数可)                               |                                        |                                                                       |             |
| [ ] 出身企業の紹介                                                  | [ ] ホームページを見て                          | [ ] ニュースレターを見て                                                        |             |
| [ ] 知人の紹介                                                    | [ ] その他( )                             |                                                                       |             |

上記入手の個人情報は、個人情報保護法の方針に従って厳重に管理し、ボランティア活動に必要な範囲内に限り使用させていただきます。

## 三井ボランティアネットワーク事業団

本部(東京) 〒107-0052 東京都港区赤坂3-11-3 赤坂中川ビル3階  
TEL:03-5570-2181 FAX:03-5570-8035

関西支部(大阪) 〒556-0011 大阪市浪速区難波中1-12-5 難波室町ビル4階  
TEL:06-4396-8680 FAX:06-4396-8681

中国支部(広島) 〒730-0017 広島市中区鉄砲町6-7 槌本ビル5階  
TEL:082-222-5101 FAX:082-222-5101

ホームページからも登録していただけます。 <http://www.mv-net.com/>